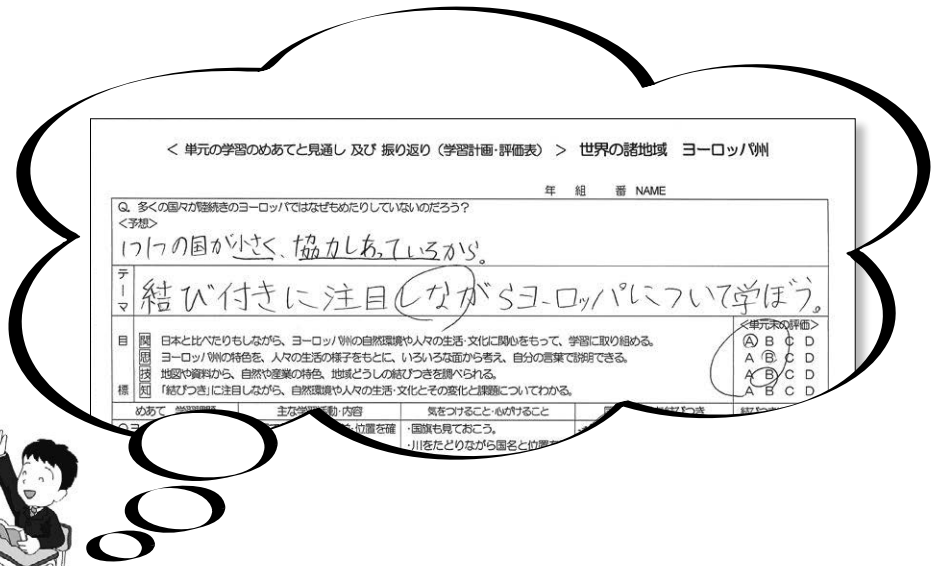


# 中学校社会科 地理的分野 移行措置期間対応資料

## 地誌学習ワークシート例

～見通し・振り返りを重視した授業実践～

栃木県 鹿沼市立板荷中学校  
青木 靖



### ● もくじ ●

見通し・振り返りを重視した授業実践	………	p.1
（『中学校社会科のしおり』 2019年1学期号 掲載）		
世界の諸地域 ヨーロッパ州ワークシート例	…	p.5
世界の諸地域 南アメリカ州ワークシート例	…	p.6
日本の諸地域 近畿地方ワークシート例	………	p.7
生徒による近畿地方のワークシート記入例	………	p.8
日本の諸地域 関東地方ワークシート例	………	p.9
生徒による関東地方のワークシート記入例	………	p.10



# 見通し・振り返りを重視した授業実践

## —ヨーロッパ州を例に—

### 1 はじめに

「見通し・振り返り」学習活動は、学習指導要領において学習意欲の向上と自主的な学習態度の育成、学習内容の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成という生徒に最も必要視される資質・能力及び態度を形成するための最重要事項である。その一つの方策として、私は、特に地理的分野の学習において「学習計画・振り返り表」（以下、「計画表」）を作成して指導を行ってきた。「計画表」は学習意欲を持続させ、単元の学びを生徒が「見通し・振り返り」を行うのに役立つよう作成したものである。そこで本稿では、ヨーロッパ州の単元を事例に生徒が実際に記入した「計画表」（図1）を用いながら、「見通し・振り返り」の学習活動を重視した授業実践について紹介したい。

### 2 「学習計画・振り返り表」の効果

「計画表」を活用することにより、次のような効果があった。まず、指導する教師側にとっては、単元の全体や詳細を考えながら構想や指導を行うことができたこと、毎時生徒に感想・考察を書かせることにより学習の振り返りをさせることができたこと、また、生徒にとっては、「気をつけること・心がけること」という項目（図1-⑧）や教師からのアドバイスが、学習のガイダンスや学習ガイドとして機能していたことがあげられる。

### 3 「学習計画・振り返り表」を用いた「見通し・振り返り」学習活動のポイント

表1 「見通し・振り返り」学習活動のポイント

ポイント	計画表
(1) 「ねらい」「学習課題」を提示する。	⑤⑥
(2) 学習の流れ・展開、程度を考慮しながらさらに考えるための留意点や考え方を生徒の立場に立って示す。	⑦⑧
(3) 毎時の学習・それまでの学習を振り返らせながら、テーマとして掲げた考察の仕方でも考察させる。	⑨
(4) 毎時の考察の仕方での考察をもとに単元というまとまりで改めて考察させる。	⑩⑪
(5) 自らの進歩を実感させ、学びに向かう力を高める。	④ (⑨⑩⑪)
(6) 社会的事象の地理的な見方・考え方、地理的分野の学び方を気づかせ学ばせる。	⑧⑨ ⑩⑪

ねらい（「計画表」ではめあてとしている）を示すことは生徒の学習意欲を高めたり、本時の学習内容や方法に見通しをもたせたりするための一つの手段となっている。そこで表1の(1)では、生徒がねらいを知り、学習課題によってどのような学習内容・方法で、あるいはどのような見方・考え方や留意で追究していくのかを知ることができるよう、ねらいと学習課題の両方を示すこととした。

なお、ねらい（図1-⑤）は次のようなものを設定した。学習課題について追究していくために「何がわかればよいか、できればよいか」、「何について考えればよいか」、「どのような学習活動をするか、どのような活動を通してどのような方法で学ぶか」、「どのようなことに着目

<p>1 Q. 多くの国が陸続きのヨーロッパではなぜめだりしていないのだろう？ &lt;予想&gt; 177の国が小さく、協力しあっているから。</p>	
<p>2 テーマ 結び付きに注目しながらヨーロッパについて学ぼう。</p>	
<p>3 目標 日本と比べたりもしながら、ヨーロッパ州の自然環境や人々の生活・文化に関心をもって、学習に取り組み、ヨーロッパ州の特色を、人々の生活の様子をもとに、いろいろな面から考え、自分の言葉で説明できる。 地図や資料から、自然や産業の特色、地域どうしの結びつきを調べられる。 目標 「結びつき」に注目しながら、自然環境や人々の生活・文化とその変化と課題についてわかる。</p>	
<p>4 &lt;単元末の評価&gt; A B C D A B C D A B C D A B C D</p>	
<p>5 第1時 めあて 学習課題 ○ヨーロッパ州の主な国々の名前・位置、地形や気候の特色が作業を通してわかる。 「どのような自然環境の特色があるだろう」</p>	<p>7 主な学習活動・内容 ・地図で主な国々の名前・位置を確認して白地図に書く。 ・地図で主な地形名を確認し白地図に書く。 ・気候の特色を確認する。</p>
<p>6 第2時 ○宗教・言語の違いと分布を調べることを通して、ヨーロッパの文化の特色がわかる。 「どのような文化の特色があるだろう」</p>	<p>8 気をつけること・心がけること ・国旗も見ておこう。 ・川をたどりながら国名と位置を確認しよう。 ・前単元の気候の学習を振り返ろう。 ・西岸海洋性気候については風や海流と関連させて理解しよう。</p>
<p>9 第3時 ○統合の動きによる人々の生活の変化を結びつきに注目しながら調べる。 「統合の動きによって、どのような生活の変化がみられたらだろう」</p>	<p>9 国境を越えた結びつき ・複数の国を流れている、国際河川 ・水河川、アムール、というものが流れている。 ・暖流の北、西洋海流と偏流の影響を受けると、気候が穏やかになる。 ・北西部系、バルカン系、プロテスタント南部、ラテン系、カトリック、共通性、東部、スラブ系、正教会、多様性、統一線が一が深い海洋。</p>
<p>10 第4時 ○農業の特色と課題を調べる。 「農業にはどのような地域的的特色と課題があるだろう」</p>	<p>10 ユーロッパ州の学習をまとめよう。 ・EUに加盟している国は、国境の通過の自由も関税がないなどの利点がある。 ・国際河川がたく流れている、補助金を出しているが、財政を圧迫している。 ・アムールが見える。 ・キリスト教が信仰されていて、3つの宗派がある。 ・3つの言語があり、文法も発音も異なる。 ・地形も気候も特徴を利用した。3つの農業がある。 ・EU内で協力して航空機を生産している。(先端技術産業)</p>
<p>11 第5時 ○工業の特色と課題を調べる。 「工業にはどのような地域的的特色と変化や課題があるだろう」</p>	<p>11 ユーロッパの国々の結びつきについて感じたこと・わかったこと・考えたこと 自分達の国々のいい所を利用して大きく協力して生活してると感じました。域内の課題などもたくさんある事もわかりました。 東ヨーロッパと西ヨーロッパの経済格差の問題と東ヨーロッパの人が働きにくくなって来て西ヨーロッパの失業者が増えている事を知り、同じヨーロッパでも、全く違う事もあるんだなと思いました。</p>

図1 生徒が記入したヨーロッパ州の「学習計画・振り返り表」の例(カコミや数字は編集部)

して学ぶか」といったものである。

学習課題(図1-6)は、ねらいをもとに検討し、またその追究や解決を学習内容・方法とすることから、授業構想および授業実践において、目標-指導-評価の一体化の具現であり、根幹をなすものである。これは「見通し・振り返り」学習活動の中でおおいに意識したい。(2)でもいえるが、授業では導入の学習活動・内容

との関連を図り生徒に見通しをもたせながら適切な学習課題の提示を行い、また意図的な留意や、ゆさぶり・ほのめかし等を行うことによって学びの促進をめざしたい。学習課題は、社会的事象の経緯を調べるならば「○○はどのような~だろう」、社会的事象の背景や原因を中心に追究していくならば、「○○はなぜ~だろう」といった各々の課題解決型の学習にふさわしい

※：図中◎は、考察の仕方のポイントとなる「結びつき」を考える上で中心となる時間(単元によっては、その単元で特に育成をはかりたい資質・能力を発揮させる時間)

ものを設定することに留意して作成した。

(2) については、(6) の内容を参照してほしい。ここでは見通しを意識することが重要である。

(3) (4) の振り返る活動では、活動を通して授業の前後で自分の考えがどのように変わったのか、何が身についたのか等の自覚化が重要である。そのため、改めて考察することは、生徒にとって自分の学びを評価する活動となる。

(5) では、評価がもつ機能をいかして、評価段階を増やしたり、生徒の記述に対して簡潔ながらも賞賛のコメントを記入したり、よい着眼点や発想には朱書きのアンダーラインを引いたりして、評価を行った。そして、それらの評価を生徒に返すことによって、それが見方・考え方の獲得、学習意欲の向上、自主的な学習態度の育成、資質・能力及び態度の向上につながったことを確認できた。

(6) では、深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要であり、「計画表」では多くの項目において「見方・考え方」をふまえた。一般的に、生徒の立場に立って地理的な見方・考え方をにおわせるような視点や方法を示したり、わかりやすい表現を心がけたりした。なお、これについては、(i)単元で得た知識を中心とした学びを、生徒の思考によりいかす。(ii)系統性もふまえ、深い思考をうながすようにする。(iii)育成を図る資質・能力によって「計画表」の形式を多少変える。(iv)思考・判断・表現の観点の評価場面を十分確保する。といったことも考慮している。

これらをふまえ、ヨーロッパ州の「計画表」の各項目を以下のことに留意して設定した。

- ・項目「Q」(図1-①)：単元の学習内容やテーマとのかかわりをイメージさせ、見方・考え方をにおわせる問いを位置づける。
- ・項目「テーマ」(図1-②)：考察の仕方を毎時と単元の最後で意識させる。

- ・項目「目標」(図1-③)：今回は「日本と比べたりしながら…(関・意・態)」「結びつきに注目しながら…(知・理)」などを掲げた。これらは地理的な見方・考え方そのものである。単元の最後でA～Dの4段階で生徒に評価させる(図1-④)。
- ・項目「ねらい(めあて)」「学習課題」(図1-⑤⑥)：見方・考え方にあたる視点や方法を示す。
- ・項目「主な学習活動・内容」(図1-⑦)：今回は問いに対する答えを半分示してしまった感があるが、ヨーロッパ州の単元を「世界の諸地域」の学習の最初に位置づけたこともあり、見方・考え方を学ばせるには、視点のある程度示した上での追究も(いわば手の内を明かすのも)、一つの方法としてよいのではないかと考える。
- ・項目「気をつけること・心がけること」(図1-⑧)：見方・考え方を学習内容・方法に合わせて具体的に数多く掲げる(指導案の「指導上の留意点」にあたるもの)。
- ・テーマと関連する記述をする欄(今回では結びつき)(図1-⑨)：地理的な見方・考え方を中心としたこれまでの学びを駆使させて記述させる。
- ・単元の最後の自由記述の欄(図1-⑩⑪)：見方・考え方に関する生徒の記述を期待したい。

## 4 単元の授業の実際

単元の導入では、発達段階や指導の系統性をふまえ、問い(Q)を設定し、生徒に予想を書かせた。「考え方が同じ・似ている」「小さい国が多いので協力している」といった結びつきにつながる回答があった一方で、「国境が山脈や川になっている」「条約・法律がある」といった社会科の内容にはふさわしいが結びつきをあまり意識していないものも回答としてあがっていた。そのため、「テーマ」は、上記の生徒の回答を考慮し、単元の学習展開や発達段階・系統性をふまえ、本単元では教師側から提示することとした。

**第1時**では、国際河川、ピレネー山脈、海峡、島をあえて意識して確認させ、結びつきを考えられるようにした。ここで、国と国旗を以前の学習と関連させながら確認させ、国旗に描かれ

ている十字架等で共通性をほのめかした。「計画表」のテーマ（結びつき）に関する項目である「国境をこえた結びつき」の欄は、前述の通りヨーロッパ州を「世界の諸地域」の最初に位置づけたことから、考える範例となるように生徒全員で考え教師が適切に関与して表に記入させた。「結びつきによる変化」の欄はこの段階ではまだ難しかったようで、教科書から抜き書きする程度にとどまった。

**第2時**の宗教・言語・民族等の文化の学習では、『中学校社会科地図』p.53「③労働者の移動」も見せながら、旧植民地から、また労働者として各地から移住者が集まっていることについてふれた。「国境をこえた結びつき」については、文化を結びつきとの関連でとらえることは生徒にとって難しかったようである。そこで「共通性」「多様性」をキーワードとして示したところ、それをもとにしてとらえる生徒や、国旗の十字架について言及する生徒もいた。「結びつきによる変化」の欄には多様な民族がともに暮らすようになったという記述が多くみられた。

**第3時**は、『社会科 中学生の地理』p.56「①フランスとドイツを結ぶ橋をわたる子どもたちとその橋」[国境の近くに住むドイツ人の話](**図2**)を導入で用い、国境のようすやドイツ人の話を見せ、結びつきの歴史・背景・理由を中心に展開した。「国境をこえた結びつき」の欄は「加盟国内でできること」を宿題として記入させ、次時の導入で確認を行った。その上で、「結びつきによる変化」について考えさせ、「アメリカ合衆国に対抗できるようになった」ということや、人々の生活、行き来、貿易、産業発展、労働について多くの生徒が気づくことができた。

**第4・5時**では、EU域内の食料自給率をあげる取り組みや航空機の分業生産などEU各国が協力している姿を取り上げたところ、「結びつきによる変化」では産業にかかわるEU加盟のメリットとともにデメリットや今後の課題が

### 声 国境の近くに住む ドイツ人の話

私が住んでいるのは、フランスの国境から20kmほどのドイツの町で、勤め先があるフランスのストラスブールへは毎日、車で通勤しているの。お給料はもちろんユーロでもらっているし、仕事帰りには、会社の近くにあるフランスのスーパーマーケットで夕飯の食材を買うの。ドイツもフランスも同じユーロで買い物ができるから、本当に便利よ。



図2 『社会科 中学生の地理』p.56  
「国境の近くに住むドイツ人の話」

あげられていた。

「計画表」の最後には、振り返りとして単元の学習のまとめを書かせている(**図1-⑩**)。ここではまだ少々稚拙で単なる学習内容のまとめのみに終始してしまった生徒が多かったものの、一方で本単元の考察の仕方である結びつきをしっかりとふまえてまとめを行うことができた生徒もいた。振り返りとしての感想・考察(**図1-⑪**)には、イギリスのEU離脱問題について記述する生徒もおり、社会の動きに主体的に関心をもとうとしているようすがうかがえた。

なお、振り返りにおいて、見方・考え方をとおおいに働かせた考察をさせたい場合は、発達段階や系統的な指導もふまえながら、さらなる発問の工夫が必要である。

## 5 おわりに

「世界の諸地域」「日本の諸地域」の学習では「計画表」を活用して指導している。これを繰り返すことによって、考察の仕方にもとづいた質の高い生徒の記述が見られるようになっている。発達段階、生徒の実態、指導の系統性をふまえ、適切な評価や個別の賞賛や励ましといった声かけを交えながら、中長期的な展望をもって指導にあたることが大切であろう。

p.5~10の掲載分含め、各州・各地方のワークシート例は、帝国書院指導者専用サイトに掲載されています。指導者専用サイトの詳細は、本資料裏表紙をご覧ください。

< 単元の学習のめあてと見通し 及び 振り返り (学習計画・振り返り表) > 世界の諸地域 ヨーロッパ州

年 組 番 NAME

Q. 多くの国々が陸続きのヨーロッパではなぜめあたりしていないのだろうか? <予想>					
テ ー マ					
目 標	<p>【関】 日本と比べたりもしながら、ヨーロッパ州の自然環境や人々の生活・文化に関心をもって、学習に取り組める。</p> <p>【思】 ヨーロッパ州の特色を、人々の生活の様子をもとに、いろいろな面から考え、自分の言葉で説明できる。</p> <p>【技】 地図や資料から、自然や産業の特色、地域どうしの結びつきを調べられる。</p> <p>【知】 「結びつき」に注目しながら、自然環境や人々の生活・文化とその変化と課題についてわかる。</p>	<単元末の評価> A B C D A B C D A B C D A B C D			
めあて	学習課題	主な学習活動・内容	気をつけること・心がけること	国境を越えた結びつき	結びつきによる変化
○ヨーロッパ州の主な国々の名前・位置、地形や気候の特色が作業を通してわかる。 「どのような自然環境の特色があるだろう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図で主な国々の名前・位置を確認して白地図に書く。</li> <li>・地図で主な地形名を確認し白地図に書く。</li> <li>・気候の特色を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国旗も見ておこう。</li> <li>・川をたどりながら国名と位置を確認しよう。</li> <li>・前単元の気候の学習を振り返ろう。</li> <li>・西岸海洋性気候については風や海流と関連させて理解しよう。</li> </ul>		
○宗教・言語の違いと分布を調べることを通して、ヨーロッパの文化の特色がわかる。 「どのような文化の特色があるだろう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツの祝日・主な国々の国旗からわかることをあげる。</li> <li>・3つの宗教・言語の特色や分布を資料で調べる。</li> <li>・多様な民族が共生していることを知る。</li> <li>・文化の特色をあらためて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなことが関係しているか考えよう。</li> <li>・宗派の特色は先生の話や後の歴史学習から掘ろう。</li> <li>・3つの民族も確認しよう。</li> <li>・文化の特色 keyword : 「〇〇性」「〇〇性」</li> </ul>		
◎統合の動きによる人々の生活の変化を結びつきに注目しながら調べる。 「統合の動きによって、どのような生活の変化がみられたらう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あるドイツ人たちの姿を見る。</li> <li>・結びつきの歴史とその背景・理由を調べ考える。</li> <li>・EU加盟国でできることを調べる。</li> <li>・デンマークの問題を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国の国境との違いをイメージして見ていこう。</li> <li>・他国と比較するグラフをもとに考えていこう。</li> <li>・後の歴史の学習にこの学習を活かそう。</li> <li>・自分が生活するとしたらと想定して加盟国のメリットをとらえよう。</li> </ul>		
○農業の特色と課題を調べる。 「農業にはどのような地域的特色と課題があるだろう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの農業のやり方の特色と盛んな地域を調べる。</li> <li>・国による違いをもとにEUのめざす農業を知る。</li> <li>・EUの農業政策と課題を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの人の食事や気候と関連させてみていこう。</li> <li>・各国の自給率の資料から政策・課題について考えよう。またあらためて農業の特色をとらえていこう。</li> </ul>		
○工業の特色と課題を調べる。 「工業にはどのような地域的特色と変化や課題があるだろう」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機の生産について見る。このような特色の理由を考える。</li> <li>・工業の盛んな地域と変化を調べる。</li> <li>・伝統的な工業も知る。</li> <li>・EU統合による変化と課題を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習も活かして考えていこう。</li> <li>・地名とその位置を地図等で必ず確認しよう。</li> <li>・日本との関わりも知ろう。</li> </ul>		
ヨーロッパ州の学習をまとめよう。			ヨーロッパの国々の結びつきについて感じたこと・わかったこと・考えたこと		

< 単元の学習のめあてと見通し 及び 振り返り (学習計画・振り返り表) > 世界の諸地域 南アメリカ州

年 組 番 NAME

Q. 「開発」(例:教科書 P96 アマソンの開発)はいいことか?悪いことか?理由や具体的なことを書こう。 < いいこと 悪いこと >

テーマ 「豊かな自然」「開発」「環境問題」に着目しながら、追究しよう。

目 標	「開発」「環境問題」に着目しながら、南アメリカ州の自然環境や人々の生活・文化・産業に関心をもって、学習に取り組める。 開発や環境問題について、根拠をもとにした自分なりの考えをもち、適切にまとめたり発表したり表現できる。 南アメリカ州の自然環境や人々の生活・文化・産業の特色を示す適切な資料を読み取れる。 「開発」「環境問題」もふまえて、自然環境や人々の生活・文化・産業の特色についてわかる。	<単元末の評価> A B C D A B C D A B C D A B C D
-----	--	--

めあて 学習課題	学習する事から	資 料	豊かな自然とその活かしている様子	開発や環境問題のあらまし
○国々の名前・位置、地形や気候の特色が、作業を通してわかる。 「どのような自然環境の特色があるだろう」	・地形(山脈・川 etc.)  ・気候 熱帯林、パンパ	地P 白P 教P		
○歴史と人種・民族構成が、教科書や資料で確認しながら、わかる。 「歴史と文化にはどのような特色があるだろう」	・歴史※先住民※植民地 ※奴隷※日系人 ・人種・民族構成、言語 ・伝統的な生活 ※焼畑農業	教 P93 資 P87	☆豊かな自然と関わりはあるかな?	
○南アメリカの農業や工業の発展の様子かわかる。 「産業にどのような変化があるだろう」	・大農場での農業 ※コーヒー ※モノカルチャー経済 ※バイオ(イタール)燃料 ・鉱産資源 ・工業	教 P94 資 P88 P89		
○発展や開発の様子とそれに伴う問題点をまとめることができる。 「発展と開発にともなってどのような問題があるだろう」	<バイオ燃料> ①バイオ燃料とは?メリット? ②さとうきび・たいすの生産 ③問題点	教 P97 資 P89		
	<都市の開発・産業の発展> ①都市の様子・変化(理由・人口) ②問題点	教 P98		

○資料をもとに自分なりの考えがまとめられる。(ディベートに向け準備できる) 「アマソンの熱帯林は保全すべきか、開発すべきか?」PART 1	教 P96 P97 資 P81	☆自分の立場に関するメモ欄
--	-----------------------------	---------------

◎「アマソンの熱帯林は保全すべきか、開発すべきか?」PART 2 プチ・ディベート	保 得点 開		☆評価の観点	I保	II開	IV保	IV開	V開	VI保
	☆ディベートの流れ I. 保全派の主張(2分) II. 開発派の主張(2分) III. 作戦タイム(3分) IV. 質疑応答及び反論(10分) V. 開発派の最終主張(2分) VI. 保全派の最終主張(2分) VII. 判定及び講評 計	／		／	ア.わかりやすい話し方であったか?	123	123	123	123
	／	／	イ.説得力のある話し方であったか?	123	123	123	123	123	123
	／	／	ウ.工夫した表現であったか?	123	123	123	123	123	123
	／	／	エ.ふさわしい態度や心構えで臨んでいたか?	123	123	123	123	123	123
	／	／	オ.質問や反論に対する応答であったか?	123	123	123	123	123	123
	／	／	カ.根拠をもとに話しているか?(資料を示しているか)	123	123	123	123	123	123
	／	／	キ.根拠をもとに話しているか?(学びや情報を活かしているか)	123	123	123	123	123	123

☆ディベート後の自分の考えを書こう。

＜ 単元の学習のめあてと見通し 及び 振り返り（学習計画・振り返り表） ＞ 日本の諸地域 近畿地方

年 組 番 NAME

Q. 近畿地方に関して知っていることを書き出そう。(例 食べ物、観光地、出来事、人物)

テーマ **環境保全とのかかわりに注目して、近畿地方の特色を学習していこう。**

目 標	<p>環境保全の視点から、近畿地方の自然環境や人々の生活・産業に関心をもって学習に取り組める。</p> <p>人々の生活や産業の変化や問題などについて、環境保全に注目しながら、その原因と対策、目的の面から考えられる。</p> <p>地図や資料から、自然や人々の生活・産業の特色、環境問題や環境保全について調べられる。</p> <p>「環境保全」に注目しながら、自然環境や人々の生活・文化等の近畿地方の地或的特色についてわかる。</p>	<p>＜単元末の評価＞</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p>
-----	---	---

めあて 学習課題	学習活動・内容と学習方法	気をつけること・心がけること	「環境」「保全」「環境保全」とかかわる事から	具体的な変化、対策
○近畿地方の県名・位置、地形や気候の特色が作業を通してわかる。 「どのような自然環境の特色があるだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県名と位置の確認</li> <li>● 地形の確認→白地図</li> <li>● 気候の特色(雨温図・写真・教科書)</li> </ul> <p>※防災にむけた神戸市のまちづくり</p>	<p>・「鳥の目で」(全体的・鳥瞰的に)近畿地方の地形をとらえてみよう。</p> <p>・風や海流と関連させて、雨温図や写真資料と重ねて、近畿地方の気候をとらえよう。</p>	<p>震災後のまちづくり</p> <p>紀伊半島の樹木</p> <p>ため池</p> <p>琵琶湖 次の時間詳しくやります。</p>	☆
◎琵琶湖の環境保全の重要性がわかる。 「琵琶湖とその周辺では環境保全のために、どのような取り組みが行われてきたらう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大都市圏 ● 特色 ● 集中の理由</li> <li>● 琵琶湖 ● 淀川水系の役割 ● 汚れ・水質改善</li> </ul> <p>※商業都市・大阪</p> <p>※在日韓国・朝鮮人の暮らし</p> <p>a アオコの原因は？</p> <p>b 汚れの様子は？</p> <p>c 住民自らや県がとった対策は？その他の対策は？</p>	<p>・資料から、人口(都市)の分布を読み取ろう。</p> <p>・2つの面から集中の理由を考えよう。</p> <p>①地形や気候(自然的要因)</p> <p>②交通や歴史(社会的要因)</p> <p>・資料から、淀川水系の役割を読み取ろう。</p>	<p>大都市圏 土地 生活用水</p> <p>琵琶湖の水質</p> <p>a</p> <p>b</p>	☆ ☆c
○阪神工業地帯の特色と環境への配慮がわかる。 「阪神工業地帯はどのような特色があるだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 阪神工業地帯の特色</li> <li>● 工業地帯の地位や工業用水利用の変化</li> <li>● 臨海部(戦後間もなく、1970年代、2000年以降)</li> <li>● 内陸部(工場の規模、製品、作業の様子)</li> </ul>	<p>・次の3つのQを予想して本時のあらしをつかもう。</p> <p>Q2.大阪湾が最近「ハネルベイ」と言われている理由？</p> <p>Q3.「ハードロックナット」って何？誰が考えた？</p> <p>・教科書の文章、写真資料、グラフをおおいに使って取り組もう。</p>	<p>かつての阪神工業地帯での公害</p> <p>最近つくられた工場での環境への配慮</p> <p>内陸部の中小工場での生活環境への配慮</p>	☆Q1.京セラが環境対策を多くとっている理由？
○古都奈良・京都の景観保全の取り組みを調べる。 「奈良・京都では景観保全のためどのような取り組みをしているだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奈良・京都の魅力(ノートへ、右欄へ)</li> <li>● 景観保全の取り組み</li> </ul> <p>※主な名所(修学旅行に向けて、地図へ)</p>	<p>・国内外の観光客が訪れてがっかりすること・喜ぶことを予想してみよう。</p> <p>・資料だけでなく写真からも読み取ろう。</p>	文化財 例	☆町屋・町並み・建物、景観
○森林の環境保全の大切さに気づく。水産資源を保護する理由がわかる。 「林業・漁業では環境保全のためどのような取り組みをしているだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紀伊山地の林業の特色・課題</li> <li>● 森林のはたらき・役割</li> <li>● 紀伊山地の観光</li> <li>● 水産資源保護への取り組み</li> <li>● 例:カニの漁獲量と協定</li> </ul>	<p>・日本の地形、気候、自然災害の学習も活かして考えていこう。</p> <p>・伐採の様子の写真からも特色をつかもう。</p> <p>・森林のはたらき・役割はしっかり理解しておこう。</p>	<p>良質な樹木</p> <p>森林の役割(環境林)</p> <p>観光と景観</p>	

環境保全について感じたこと・わかったこと・考えたこと



＜単元の学習のめあてと見通し 及び 振り返り（学習計画・評価表）＞ 日本の諸地域 近畿地方

年 組 番 NAME

Q. 近畿地方に関して知っていることを書き出そう。(例 食べ物、観光地、出来事、人物) ま、茶、USJ、金閣、銀閣、びわ湖、やっほし、たこ焼き、足利尊氏、ひょうごういんぼうやう、中条あけみ、まいこ、大阪城 大仏、どうとんぼり、東大寺、しお、正倉院、西宮な、あけみ、法隆寺、平城京、関西国際空港				
テーマ 環境保全とのかかわりに注目して、近畿地方の特色を学習していこう。				
目 関 環境保全の視点をもって、近畿地方の自然環境や人々の生活・産業に関心をもって学習に取り組める。 思 人々の生活や産業の変化や問題などについて、環境保全に注目しながら、その原因と対策、目的の面から考えられる。 技 地図や資料から、自然や人々の生活・産業の特色、環境問題や環境保全について調べられる。 知 「環境保全」に注目しながら、自然環境や人々の生活・文化等の近畿地方の地域的特色についてわかる。				
めあて 学習課題 学習活動・内容と学習方法 気をつけること・心かけること 「環境」「保全」「環境保全」と関わる事から 具体的な変化、対策				
○近畿地方の県名・位置・地形や気候の特色が作業を通してわかる。「どのような自然環境の特色があるだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県名と位置の確認</li> <li>● 地形の確認→白地図</li> <li>● 気候の特色(気温図・写真・教科書)</li> </ul> ※防災にむけた 神戸市のまちづくり	・「鳥の目で」(全体的・鳥瞰的に)近畿地方の地形をとらえてみよう。 ・風や海流と関連させて、気温図や写真資料と重ねて、近畿地方の気候をとらえよう。	「環境」「保全」「環境保全」と関わる事から 震災後のまちづくり A 学校や災害時の拠点になるような整備をしている 紀伊半島の樹木 A 吉野や尾鷲のき ため池 A 水不足を克服するため 琵琶湖 次の時間詳しくやります。	☆震災後 A 地震に強いまちづくり!! ↓ 林に強い建物やけがの少ない道路の整備など 太陽光発電装置や備蓄倉庫など
◎琵琶湖の環境保全の重要性がわかる。「琵琶湖とその周辺では環境保全のために、どのような取り組みが行われてきたらう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大都市圏 ◎ 特色</li> <li>◎ 集中の理由</li> <li>● 琵琶湖 ◎ 淀川水系の役割</li> <li>◎ 汚れ・水質改善</li> </ul> ※商業都市・大阪 ※在日韓国・朝鮮人の暮らし aアオコ(資P57)の原因は? b汚れの様子は? c 住民自らや県がとった対策は?その他の対策は?	・資料から、人口(都市)の分布を読み取ろう。 ・2つの面から集中の理由を考えよう。 ①地形や気候(自然的要因) ②交通や歴史(社会的要因) ・資料から、淀川水系の役割を読み取ろう。	大都市圏 土地 生活用水 A 京阪神大都市圏 → 東京について人口が増加中。 土地 → 海を埋め立ててつる 生活用水 → 琵琶湖の水 琵琶湖の水質 a 生活排水・工場排水が流れにみま潮外 A 発生 b リンによるアオコの発生 A	☆京阪神大都市圏に住む1450万人に琵琶湖の水を供給 ↓ 環境を保全することが近畿地方全体の重要な課題 (注) ☆C 無リンの洗剤、粉洗剤を使う 川の清掃 ◎ 条例をつくる
○阪神工業地帯の特色と環境への配慮がわかる。「阪神工業地帯はどのような特色があるだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 阪神工業地帯の特色</li> <li>● 工業地帯の地位や工業用水利用の変化</li> <li>● 臨海部(戦後間もなく、1970年代、2000年以降)</li> <li>● 内陸部(工場の規模、製品、作業の様子)</li> </ul>	・次の3つのQを予想して本時のあらましをつかもう。 Q2. 大阪湾が最近「パネルベイ」と言われている理由? Q3. 「ハードロックナット」って何?誰が考えた? ・教科書の記事、写真資料、グラフをおおいに使って取り組もう。	かつての阪神工業地帯での公害 A 大気汚染・地盤沈下 最近つくられた工場での環境への配慮 A 使う水モリサイクル 緑のカーテン 電力を太陽光で発電 内陸部の中小工場での生活環境への配慮 A 地域や時間帯によって騒音や振動を規制する	☆Q1. 京セラが環境対策を多くとっている理由? A ・公害の発生を防ぐため ・地球温暖化を防ぐため
○古都奈良・京都の景観保全の取り組みを調べる。「奈良・京都では景観保全のためどのような取り組みをしているだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奈良・京都の魅力(ノートへ、右欄へ)</li> <li>● 景観保全の取り組み</li> </ul> ※主な名所(修学旅行に向けて、地図へ)	・国内外の観光客が訪れてがっかりすること・喜ぶことを予想してみよう。 ・資料だけでなく写真からも読み取ろう。	文化財 例 A 平城京、寺院、神社、お祭り 儀式、街路、町屋、伝統工芸品 京野菜、料理 など	☆町屋・町並み・建物 景観 A コンビニのデザイン、材料色を参考にりする。 町屋を飲食店や旅館にして保存する。 電線を地中にうつめる
○森林の環境保全の大切さに気づく。水産資源を保護する理由がわかる。「林業・漁業では環境保全のためどのような取り組みをしているだろう」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紀伊山地の林業の特色・課題</li> <li>● 森林のはたらき・役割</li> <li>● 紀伊山地の観光</li> <li>● 水産資源保護への取り組み</li> <li>● 例 カニの漁獲量と協定</li> </ul>	・日本の地形、気候、自然災害の学習も活かして考えていこう。 ・伐採の様子の写真からも特色をつかもう。 ・森林のはたらき・役割はしっかり理解しておこう。	良質な樹木 A 建築材料・家具 森林の役割(環境林) A 農業用水や生活用水を供給したり、洪水を防いだりするのはたしかな 観光と景観 A 地元住民や企業によって保全活動がされている。	紀伊山地 A ↓ 世界遺産に登録 ↓ 植生が破壊された ↓ 地元住民が保全活動!! 観光客のゴミ持ち帰り

環境保全について感じたこと・わかったこと・考えたこと

環境を保全するためには、一人だけでなくみんなが協力し、団結して行なわなければならないと思いました。また、環境を保全することは、その地域を活性化させるだけでなく、その回りの地域も活性化させるので、大切なことと感じました。

A

< 単元の学習の考察・振り返り表（学習計画・振り返り表） > 日本の諸地域 関東地方

年 組 番 NAME

Q. オリンピックで訪れる外国人に伝えることを想定して、東京のいいところ・悪いところを紹介しよう。 ※

テーマ **東京大都市圏への人口の集中は、産業や人々の生活にどのような影響を与えているだろう。**

目 標 技 術	関	関東地方の特色を、人口や都市に注目して、意欲的に追究する。 関東地方の特色を、人口や都市の特色と関連づけて考えられる。 地図や資料から、自然や産業、人々の生活の特色と変化に関する資料を見つけ、読み取ることができる。 関東地方の特色を、人口や都市の特色と関連づけて理解できる。	<単元末の評価>※ A B C D A B C D A B C D A B C D	
	思			
	技			
	術			

めあて	学習課題	学習する事から	資料※	気をつけること・心がけること 等	人口や都市との関連 ※
○関東地方の県名・位置、地形や気候の特色が作業を通してわかる。 <b>「どのような自然環境の特色があるだろう」</b>	・関東平野 ・周辺の山々 ・火山灰や川が作った土地 ・海岸線 ・気候の特色と季節風との関係 ・ヒートアイランド現象 (・地震への備え)	教P 資P 地P 教P227	・白地図でも主な地形を確認しよう ・気候の特色と季節風との関連を説明できるようにしよう。 ・教科書などから冬の気候をとらえよう。(風への対策など)	Q. 自然環境の面で最も人口の多い地方となっている理由をあげよう。	
◎日本や世界における、東京の役割を考える。 <b>「東京にはどのような役割があるだろう」</b>	・政治の中心として(首都) ・経済の中心として(首都) ・文化の中心として(首都) ・交通網の中心として(鉄道)(航空)	教P228 ①～③ →地P	・左の中心として地図で主な施設等を探そう。 ①区の名前②官庁③放送局④スポーツ施設⑤大使館⑥新幹線⑦高速道路 ・いろいろなグラフなどでその特徴をつかもう。	Q. 東京に多くの人が集まる理由を東京のもつ機能を交えて説明しよう。	
◎東京大都市圏の特色や都市問題について考える。 <b>「東京大都市圏はどのような特色や都市問題があるだろう」</b>	・東京大都市圏 ・政令指定都市(・みなとみらい21) (・ニュータウン) ・過密	教P 資P	・都市名を地図で確認しよう。 ・先生の問いに対して資料を使って答えよう。	Q. 過密への対策として、都市機能を分散させている。具体的に建設されたものをあげよう。(地図で確認しておこう。) ・文化(特に教育・研究)の機能→ ・商業施設・国際会議→ ・商業施設・オフィス→ ・渋滞緩和→	
◎人口が集中することによって発展した産業の特色を考える。 <b>「人口が多い地域で発展する産業にはどのような特色があるだろう」</b>	○情報と娯楽を扱う産業 ・ICT関連産業 サービス業 ○消費活動を支える産業 ・商業・大型ショッピングセンター、アウトレットモール、デパート ・物流センター	教P 資P	・地図で主な施設を探そう。 テーマパーク、博物館、展示場 ※東京湾岸の主な施設 ・課題もあげよう。	Q. 人口の多さや集中との関わりで、サービス業・商業がさかんになる理由となるものを書き出そう。 例. 世界の情報(政治・経済)に関するニュースや流行等が集まる	
◎関東地方の工業の発展や移り変わりを人口の特色に着目して考える。 <b>「関東の工業はどのような特色があるだろう」</b>	・京浜工業地帯 ・京葉工業地域 ・工場の広がり・分布 ・北関東工業地域	教P 資P	・生産している製品を理由を考えながらあげてみよう。 京浜：多くの人口 → 京葉：船の発着 → 北関東：高速道路開通 →	Q1. 3つの工業地域の特色を写真やグラフで実証しよう。(教P234・235、 Q2. 理由の部分をもう少し述べよう。 資P172・173)	
◎大消費地と深く関連する関東地方の農業の特色や山間部での過疎問題について考える。 <b>「まわりの農業地域や山間部は東京大都市圏とどのように結びついているだろう」</b>	・近郊農業 ・消費地から離れたところの農業(嬬恋村、房総半島南部) ・山間部の役割 ・過疎 ・Uターン、Jターン	教P 資P	Q1. 生産の多い農畜産物と上位の都道府県名を書こう。	Q2. 近郊農業が盛んな理由を考えよう。  Q3. 東京大都市圏に近い利点を活かした山間部の地域再生アイデアを書こう。	

☆ 学習を終えて、感じたこと、疑問に思ったこと、考えたこと等を書こう。 ※

< 単元の学習の考察・振り返り表 (学習計画・評価表) > 日本の諸地域 関東地方

年 組 番 NAME

Q. オリピックで訪れる外国人に伝えることを想定して、東京のいいところ・悪いところを紹介しよう。 ※  
 電車の本数が多い、移動が便利、トイレが少ない、人口が多い、自然が少ない、お店がたくさんある  
 大気汚染、騒音、通勤ラッシュ、犯罪の可能性

テーマ **東京大都市圏への人口の集中は、産業や人々の生活にどのような影響を与えているだろう。**

目 標	関 関東地方の特色を、人口や都市に注目して、意欲的に追究する。 思 関東地方の特色を、人口や都市の特色と関連づけて考えられる。 技 地図や資料から、自然や産業、人々の生活の特色と変化に関する資料を見つけ、読み取ることができる。 知 関東地方の特色を、人口や都市の特色と関連づけて理解できる。	<単元末の評価> ※ (A) B C D (A) B C D (A) B C D (A) B C D
-----	--	--

めあて 学習課題	学習する事から	資料※	気をつけること・心がけること 等	人口や都市との関連 ※
○関東地方の県名・位置、地形や気候の特色が作業を通してわかる。「どのような自然環境の特色があるだろう」	・関東平野 ・周辺の山々 ・火山灰や川が作った土地 ・海岸線 ・気候の特色と季節風との関係 ・ヒートアイランド現象 (・地震への備え)	教P 226 S P227 資P 地P P142	・白地図でも主な地形を確認しよう ・気候の特色と季節風との関連を説明できるようにしよう。 ・自分の私たちの生活から冬の気候をとらえよう。(風への対策など)	Q. 自然環境の面で最も人口の多い地方となっている理由をあげよう。 低地が広がっているから(山が少ない) AA 水が得やすい 雪が少ない 晴れの日が多い
◎日本や世界における、東京の役割を考える。「東京にはどのような役割があるだろう」	・政治の中心として(首都) ・経済の中心として(首都) ・文化の中心として(首都) ・交通網の中心として(鉄道(航空))	教P228 ①~③ →地P 資P65 ⑩, ⑪ →地P	・左の中心として地図で主な施設等を探そう。 ①区の名前②官庁③放送局④スポーツ施設⑤大使館⑥新幹線⑦高速道路 ・いろいろなグラフなどでその特徴をつかもう。	Q. 東京に多くの人が集まる理由を東京のもつ機能を交えて説明しよう。 AA ・東京には、多くの機関が集ま、ているので、学生や働く人が多い ・地下鉄・新幹線・高速道路が多く、利用されている。
◎東京大都市圏の特色や都市問題について考える。「東京大都市圏はどのような特色や都市問題があるだろう」	・東京大都市圏 ・政令指定都市(・みなとみらい21) (・ニュータウン) ・過密	教P 230 S P231 資P	・都市名を地図で確認しよう。 ・先生の問いに対して資料を使って答えよう。	Q. 過密への対策として、都市機能を分散させている。具体的に建設されたものをあげよう。(地図で確認しておこう。) AA ・文化(特に教育・研究)の機能 → 筑波研究学園都市 ・商業施設・国際会議 → さいたま新着心 ・商業施設・オフィス → 幕府新着心 ・渋滞緩和 → 首都高中央環状線や東外環自動車道、圏央道といった道路の整備された
◎人口が集中することによって発展した産業の特色を考える。「人口が多い地域で発展する産業にはどのような特色があるだろう」	○情報と娯楽を扱う産業 ・ICT関連産業 サービス業 ○消費活動を支える産業 ・商業・大型ショッピングセンター、外 レット、デパート ・物流センター	教P 232 S P233 資P	・地図で主な施設を探そう。 テーマパーク、博物館、展示場 ※東京湾岸の主な施設 ・課題もあげよう。	Q. 人口の多さや集中との関わりで、サービス業、商業がさかんになる理由となるものを書き出そう。 AA 例 世界の情報政治経済に関するニュースや旅行等が集まる ・東京メトロ・ランドなどのテーマパークや博物館 展示場がたくさんある ・高速道路の近くに物流センターがある
◎関東地方の工業の発展や移り変わりを人口の特色に着目して考える。「関東の工業はどのような特色があるだろう」	・京浜工業地帯 ・京葉工業地帯 ・工場の広がり・分布 ・北関東工業地帯	教P 234 S P235 資P	・生産している製品を理由を考えながらあげてみよう。 A 京浜：多くの人口 → 印刷業 京葉：船の発着 → 石油化学工業 北関東：高速道路開通 → 自動車関連・電気機械	Q1. 3つの工業地帯の特色を写真やグラフで裏証しよう。(教P234・5、 資P68) Q2. 理由の部分をもう少し述べよう。 AA 京浜工業地帯 人口が多く、膨大な情報が集まるので、印刷業がさかん 京葉工業地帯 臨海帯なので、船での輸入・輸送が便利なので、石油化学工業がさかん 北関東工業地帯 高速道路が開通したことで、自動車関連や電気機械がさかん
◎大消費地と深く関連する関東地方の農業の特色や山間部での過疎問題について考える。「まわりの農業地域や山間部は東京大都市圏とどのように結びついているだろう」	・近郊農業 ・消費地から離れたところの農業 (・藤野村、房総半島南部) ・山間部の役割 ・過疎 ・1ターン、Uターン	教P 236 S P237 資P	Q1. 生産の多い農畜産物と上位の都道府県名を書こう。 A 茨城 はくさい 栃木 いちご 栃木・千葉 乳牛や豚 群馬県 鶏肉 千葉県 豚 房総半島南部 花	Q2. 近郊農業が盛んな理由を考えよう。 AA 大消費地の近くで生産できる ↓ 新鮮なものを生産!! Q3. 東京大都市圏に近い利点を活かした山間部の地域再生アイデアを書こう。 A キャンプ場などをつくる

☆ 学習を終えて、感じたこと、疑問に思ったこと、考えたこと等を書こう。 ※ A  
 東京は改めて人がたくさん集まる場所なんだと感じました。また、東京は、昼間いる人口の方が、夜いる人口より多いということを知りました。  
 東京は過密を防ぐために、道路の整備や教育機関の移動などを行っているのに、あんなにたくさんの方が集まりすぎていると感じました。  
 大消費地の近くでは近郊農業がさかんということを知り、だから新鮮なものを買えるんだと納得しました。

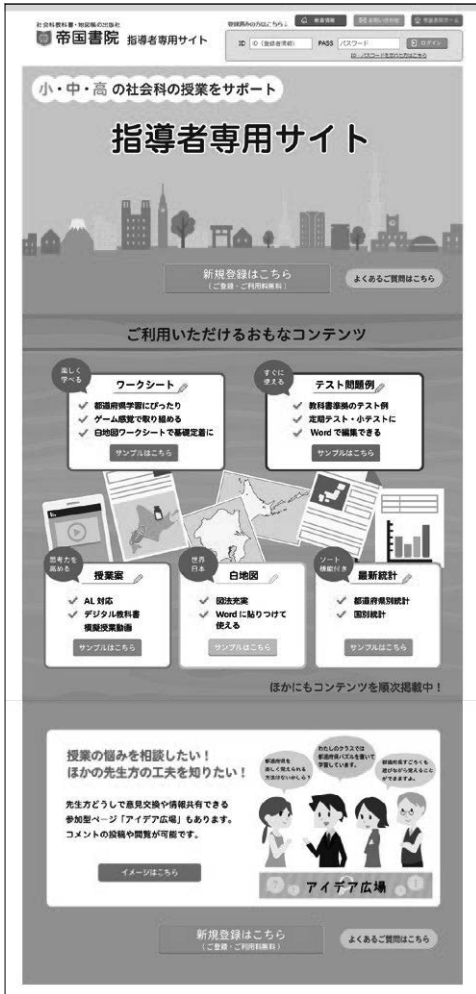


指導者専用

# サイトのご案内

無料!

帝国書院「指導者専用サイト」では、小・中学校に勤務されている先生方に向けて、社会科の授業をサポートするコンテンツを多数ご用意しています。ご登録・ご利用料は無料です。ぜひ、ご登録ください。



※画像はイメージです。

## ご利用いただけるおもなコンテンツ

- その1 楽しく学べる「ワークシート」
- その2 思考力を高める「授業案」
- その3 写真・動画を収録「プレミアム写真館」
- その4 世界・日本の「白地図」
- その5 ソート機能付き「最新統計」

ほかにも  
コンテンツを  
順次掲載中!

## まずはお申し込みを!

### Step 1

小中学校  
指導者専用サイト

スマートフォン・  
タブレットにも対応



↑帝国書院ウェブサイトトップページのバナーをクリック!

URLはこちら!

<https://www.teikokushoin.co.jp/members/>

↑スマートフォン・  
携帯電話の方は  
こちらから

### Step 2

「新規登録は  
こちら」から、  
利用規約にご同意のうえ、必  
要事項を記入し、お申し込み  
ください。

### Step 3



およそ1週間以内  
にID、パスワード  
記載の登録者証  
をご勤務先へ郵送  
します!

## 収録コンテンツのご紹介

※内容は変更・修正する場合があります。

### 動画

アルゼンチン パタゴニア



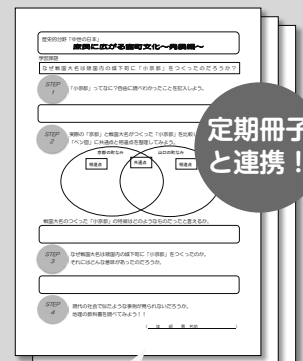
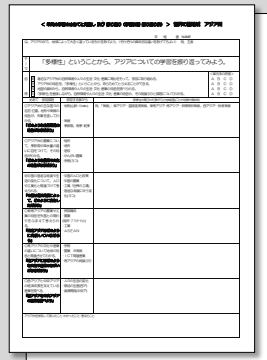
アラブ首長国連邦(UAE)



さらに  
充実!

登録者限定! プレミアム写真館に動画を掲載!  
世界各地の貴重な取材映像を公開しています!

## 授業研究コーナー対応ワークシート



\*イメージ画像は2019年度  
1学期号のワークシートです。

定期冊子「中学校 社会科のしおり」授業研究をご執筆  
の先生方による授業案に沿ったワークシートを掲載!



帝国書院 資料編集部

TEL 03-3262-0831 FAX 03-3262-0840

URL <https://www.teikokushoin.co.jp/>

2020年1月発行

©帝国書院 2020